

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11) 特許出願公表番号

特表2004-520797

(P2004-520797A)

(43) 公表日 平成16年7月8日(2004.7.8)

(51) Int.Cl.⁷

H02K 9/06

H02K 19/22

F 1

H02K 9/06

H02K 19/22

テーマコード(参考)

5H609

5H619

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 50 頁)

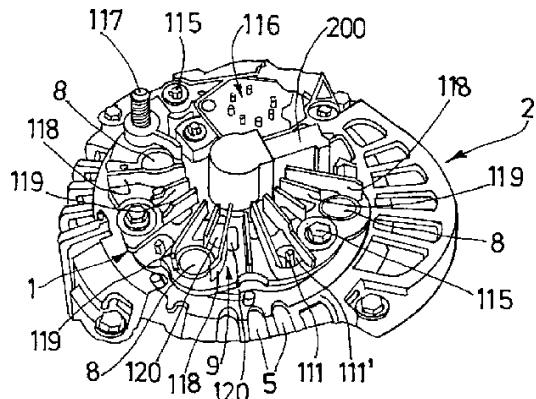
(21) 出願番号	特願2002-590480 (P2002-590480)	(71) 出願人	591063811 ヴァレオ エキップマン エレクトリク モ トゥール V A L E O E Q U I P E M E N T S E L E C T R I Q U E S M O T E U R フランス国 94000 クレティユ リ ュ アンドレ ブル 2
(86) (22) 出願日	平成14年5月15日 (2002.5.15)	(74) 代理人	100060759 弁理士 竹沢 荘一
(85) 翻訳文提出日	平成15年1月15日 (2003.1.15)	(74) 代理人	100087893 弁理士 中馬 典嗣
(86) 國際出願番号	PCT/FR2002/001631	(72) 発明者	ディルク シュルトウ フランス国 エフー94360 ブリイ シュル マルヌ リュ フランシュッティ 37
(87) 國際公開番号	W02002/093717		
(87) 國際公開日	平成14年11月21日 (2002.11.21)		
(31) 優先権主張番号	01/06386		
(32) 優先日	平成13年5月15日 (2001.5.15)		
(33) 優先権主張国	フランス (FR)		
(31) 優先権主張番号	PCT/FR01/03095		
(32) 優先日	平成13年10月8日 (2001.10.8)		
(33) 優先権主張国	フランス (FR)		
(81) 指定国	EP (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, TR), BR, CN, JP, KR, MX, US		

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】回転電気機器

(57) 【要約】

本発明は、後方ベアリング(2)と、回転電気機器が発生する電流を整流するための装置(1)とを備え、該整流装置が、全体にプレート(9)の形状をした放熱器によって支持された多数のプラスダイオード(8)と、好ましくは後方ベアリングの一部を形成するプレート状とした支持手段によって支持された多数のマイナスダイオード(10)とを備え、前記プレート(9)が、多数の冷却リブを備えたプラスダイオード(8)を支持しており、前記冷却リブが、プレートを実質的に径方向に横断して延びるフィン(18)(19)の形状となっており、一方、隣接するフィン(18)(19)の各対の間に、冷却空気を通過させるための開口部(20)が形成されており、いくつかのフィン(18)が、実質的に支持プレート(9)の外周部まで延びている回転電気機器に関する。



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

巻線を有するステータ(12)と、回転シャフト(15)を有するロータ(13)と、前方ベアリングと後方ベアリングとを備え、これらベアリングには、ステータ巻線が固定されており、かつロータシャフトが回転できるように取り付けられており、回転電気機器が発生する電流を整流するための装置を備え、この装置が、全体が支持プレート状をした放熱器によって支持された多数のプラスダイオードと、後方ベアリングの一部を形成するプレート状をした支持手段により支持された多数のマイナスダイオードとを備え、これらプレートは軸方向に並置され、かつ後方ベアリングに固定されており、更に前記プレート内の軸方向開口部を通して冷却流体の軸方向の流れを循環させることによって冷却を行う装置と、支持プレートの径方向内側エッジから、支持プレートを実質的に径方向に横断して延びるフィン(118)(119)の形状をした多数の冷却リブが設けられた、プラスダイオード(8)を支持するプレート(9)内に形成されたいいくつかの開口部と、隣接するフィン(118)(119)の各対の間に設けられた、冷却流体を通過させるための開口部(120)とを備えるタイプの回転電気機器において、

第1フィンとして知られるいくつかのフィン(118)が、前記プラスダイオード(8)を支持する前記プレート(9)の外周部まで実質的に延びていることを特徴とする回転電気機器。

【請求項 2】

プラスダイオード(8)を支持するプレート(9)の外周部の近くに、少なくとも2つのプラスダイオード(8)が配置されており、第2フィンとして知られる他のフィン(119)が、これらダイオードの近くまで延びていることを特徴とする、請求項1記載の回転電気機器。

【請求項 3】

プラスダイオード(8)を支持するプレート(9)内の開口部(120)が、冷却液の加速された流れのためのチャンネルを、隣接するフィン(118)(119)と共に構成していることを特徴とする、請求項1記載の回転電気機器。

【請求項 4】

支持プレート(9)の外周部まで径方向に延びる少なくとも1つの第1フィン(118)が、プラスダイオード(8)の近くに設けられていることを特徴とする、請求項1記載の回転電気機器。

【請求項 5】

前記支持プレート(9)が、プラスダイオードの領域に、厚くされた部分を有することを特徴とする、請求項4記載の回転電気機器。

【請求項 6】

前記プラスダイオード(8)を支持するプレート(9)(3)の間に導電性材料製のプレート(13)が挿入されており、かつ冷却空気を通過させるための開口部(120)を有するプラスダイオード(8)を支持するプレート(9)の一部の下方に位置する部分内を、冷却流体が自由に通過できるように、前記プレート(13)が構成されていることを特徴とする、請求項1記載の回転電気機器。

【請求項 7】

カバー部分を備え、該カバー部分が、前記プラスダイオード(8)を支持するプレート(9)のフィン(118)(119)の領域内に、対応するラジアル開口部を有することを特徴とする、請求項1記載の回転電気機器。

【発明の詳細な説明】**【0001】****(発明の分野)**

本発明は、ステータ巻線が固定されており、ロータシャフトが回転できるように取り付けられた前方ベアリングおよび後方ベアリングと、全体として支持プレート状をした放熱器によって支持された多数のプラスダイオードと、プレート状をした支持要素によって支持

10

20

30

40

50

された多数のマイナスダイオードとを備えた整流装置とを有し、これらプレートが、軸方向に並置され、後方ベアリングに固定されており、更に前記プレート内の軸方向開口部を通して、冷却流体、例えば空気の軸方向の流れを循環させることによって、冷却を可能にする装置を備え、かつ前記プラスダイオードを支持するプレート内の少なくともいくつかの開口部に、冷却リブが設けられているタイプの回転電気機器、特に自動車用オルタネータに関する。

【0002】

マイナスダイオードを支持するプレートが、後方ベアリングの一部を形成していることが好ましい。

【0003】

(従来技術)

このタイプの電気機器は、ドイツ国特許公開第19705228号公報に記載されている。プラスダイオードを支持するプレートに形成された開口部は、大きな回転角方向のアパーチャーからなる5つの開口部を備え、これら開口部のうち2つは、全体として台形となっている。これらの台形開口部は、プレートから軸方向に突出するリブによって囲まれている。

【0004】

軸方向の開口部を有するこの冷却装置は、軸方向の開口部を有しない冷却装置よりも、より効果的な冷却を行いうるが、まだ満足できるものではない。

【0005】

米国特許第5,646,838号に記載されている冷却装置についても、同じことが言える。

【0006】

この米国特許では、正極プレートを支持するプレートは、多数のリブを備え、これらのリブは、プレートを横断するように、ほぼ放射状に延びるフィン形状となっており、隣接するフィンの各対の間には、冷却用空気を通過させるための開口部が設けられている。これらのフィンは、プレートの外周部、およびプラスダイオードから所定の距離だけ、支持プレートの内側エッジよりも延びており、このプレートは、フィンの領域内でより厚くなっている。

【0007】

(発明の要旨)

本発明の目的は、上記タイプの回転電気機器の冷却性能を改善することにある。

【0008】

この目的を達成するために、本発明の回転電気機器は、径方向の全範囲にわたってプレートが冷却されるように、第1フィンがプラスダイオードを支持するプレートの外周部まで、実質的に延びていることを特徴とする。

【0009】

本発明の別の特徴によれば、プラスダイオードを支持するプレートの外周部の近くに、少なくとも2つのプラスダイオードが配置されており、前記ダイオードまで、かつこれらの近くまで、第2フィンが延びている。

【0010】

このような構成により、ダイオードの下方において、開口部を放射状に設けることができ、ダイオードを良好に冷却できるように、ダイオードにおけるプレートの厚みを増すことができる。更に、第2フィンは冷却に関与する。

【0011】

本発明の更に別の特徴によれば、プラスダイオードを支持するプレート内の開口部は、開口部の境界を定めるフィンと共に、冷却空気の流れを加速できるチャンネルを構成している。

【0012】

プラスダイオードの冷却を更に良好にするために、プラスダイオードの近くに、少なくと

10

20

30

40

50

も1つの第1フィンを設けることが好ましい。

【0013】

この回転電気機器は、カバー部品を備え、このカバー部品は、プラスダイオードを支持するプレートのフィンの領域内で、プラスダイオードを支持するプレートの開口部に対応するラジアル開口部を有するのが好ましい。

【0014】

これらの開口部は、ストリップ状の材料、または細いラジアルリブによって境界が定められている。リブはフィンの下方に配置されるので、リブの厚さは、フィンの厚さに応じて決まる。これによって、カバーの開口部と、プラスダイオードを支持するプレートの開口部とを連通できる。

10

【0015】

カバーの開口部は、プラスダイオードを支持するプレートの開口部よりもより大きい径方向のひろがりを有する。

【0016】

カバー内の開口部は、材料ストリップ、または同軸状、すなわち円周方向のリブによって2つに分割されているのが好ましい。開口部の第2部分は、カバーの外周部に位置しているので、カバー内の開口部の第1部分は、プラスダイオードを支持するプレート内の通過開口部に対向している。

【0017】

本発明の一実施例を示す单なる例として示された添付図面を参照し、次の説明を読めば、本発明について更に理解でき、本発明の上記以外の目的、特徴、細部および利点がより明らかとなると思う。

20

【0018】

(発明の好ましい実施例の説明)

次に、本発明およびその背景の理解をより容易にするために、図1および図2を参照して、まず、例えば欧洲特許第0515259号(米国特許第5,270,605号)に記載されているタイプの自動車用の多層オルタネータにおける整流装置、およびその回路配置の従来の全構造について説明する。より詳細については、上記特許を参照されたい。

【0019】

図1に示すように、オルタネータの後方ベアリング16には、符号1で示される整流装置が固定されている。この後方ベアリングは、適当な前方ベアリングと共に、オルタネータ内で、オルタネータのロータシャフト、およびステータを支持している。

30

【0020】

これらのベアリングは、自動車の固定部品に固定されるようになっているオルタネータの固定された支持ハウジングに属している。このような理由から、ベアリング16はラグを有している。これらのベアリングは、導電性であり、従来通り、アルミニウムをベースとし、アースに接続されている。

【0021】

ステータは、ステータ巻線が固定されているステータ本体を備え、ステータ巻線の出力端は、後述する整流装置に接続されている。後方ベアリング16は、全体としてカップ形状となっており、このカップは、横方向を向く中心ディッシュ3を形成する部分と、軸方向を向く外側環状リム4とを備え、環状リム4は、図3で見ることができるオルタネータのロータに連動する内側ファンによって吸引される冷却空気の出口のための横方向開口部5を備えている。

40

【0022】

ベアリング16は、ボールベアリングを介してロータシャフトを収容するための円筒形中心コア6を備えている。ディッシュ3には、オルタネータを冷却するのに使用される空気を通過させるようになっている空気入口開口部7が、コア6のまわりに設けられている。

【0023】

整流装置は、プラスダイオードとマイナスダイオードとの対を3つ備え、そのうちの1つ

50

のプラスダイオードが、図示されている。

【0024】

これらのダイオードは、1つの接続ターミナルで構成される円筒形本体を有するタイプのものであり、第2ターミナルは、この本体から軸方向に延びるテールから成っている。軸方向の寸法を縮小するために、プラスダイオードとマイナスダイオードとは、頂部と底部が向き合うようにして取り付けられており、プラスダイオードのテールは開口部7に突入している。8で示されたプラスダイオードは、円筒形本体が全体としてプレート9の形状をした放熱支持体内に強制的に挿入されている。

【0025】

後方ベアリング16のディッシュ3の環状領域内に、マイナスダイオード10の円筒形本体が強制的に挿入されている。ディッシュ3の環状領域は、上記開口部7を含む部分を囲んでいる。マイナスダイオード10のテール111は、プラスダイオード8を支持するプレート9内に設けられた孔111'を貫通している。

【0026】

このプレート9は、電気的絶縁材料を平らな導線の集合体に重ね成形することによって製造された、全体としてプレート13の形状をした本体により、ベアリング16のディッシュ3から分離されている。このプレート13は、コネクタとして知られており、平らな導線により、プラスダイオードおよびマイナスダイオードと共に、ステータの巻線の出力端で電流を整流するための整流ブリッジを形成している。

【0027】

これらの巻線は、ステータの位相巻線を形成するようになっており、プレート13に接続された電線を有する。114は、オルタネータの三相ステータの位相巻線、および中立点を整流装置に接続するようになっているこれらの導線を通過させるためのワイヤーグリッパー要素を示している。

【0028】

プラスダイオード8を支持するプレート9、および中間絶縁プレート13は、軸方向に並置されており、ネジ115により、電気的に絶縁された状態で、ベアリング16に固定されている。

【0029】

なお、116および117は、オルタネータの電子レギュレータデバイスおよびオルタネータの出力ターミナルを、それぞれ示し、出力ターミナルは、放熱支持体9、車載ネットワーク、およびバッテリーの正極ターミナルに接続されている。プレート9は金属製である。

【0030】

当然ながら、整流装置1は、プラスチックのカバーでカバーされている。このカバーは、空気を循環できるようにすると同時に、後方ベアリングに固定されている。図3および図8に、かかるカバーが示されており、このカバーも、カップ状となっている。

【0031】

以下、図3～図9を参照し、整流装置の冷却を最適にするために、本発明によって提案される構造上の対策について説明する。図1および図2に示されている要素と、同一または類似の要素に対しては、同じ符号を使用するものとする。

【0032】

本発明に係わる整流装置1は、電動モータ、特にスタータ用モータとしても、またオルタネータとしても使用することができる、公知のタイプのオルタネータ兼スタータモータの電気機器、または自動車用オルタネータに有利に使用できる。

【0033】

より詳細については、2000年3月10日に出願され、フランス国特許公開第2806223号、または国際公開第WO 01/69762号として公開されたフランス国特許第0003131号を参照されたい。

【0034】

10

20

30

40

50

このオルタネータ兼スタータ用モータは、公知のオルタネータと同様の構造を有し、電気機器がスタータ用モータモードで作動する時に、スタータ用コイルに任意の時間に電流を注入するよう、ロータの回転に追従するための、好ましくは磁気タイプの手段を有する。

【0035】

図3は、内側ファン102、104を備え、本発明に係わる整流装置が設けられたコンパクトなオルタネータ10を示す。

【0036】

本例では、多相タイプのこのオルタネータは、支持ケーシングを備え、このケーシングは、空気が循環できるように孔が開けられた2つの部品16、18から製造されている。

【0037】

このケーシングの内部には、例えば米国特許第527605号（欧州特許第0515259号）（より詳細についてはこれらを参照できる）に記載されているような、ステータ12とロータ13である2つの主要部品が収容されている。

【0038】

ステータ12は、シャフト15に固定されたロータ13を囲み、このシャフト15の後端部には、2つのスリップリング17が固定されている。シャフト15の前端部には、ブーリー（符号なし）が固定されている。このブーリーには、自動車の内燃エンジンによって駆動される変速機の一部をなすベルトが巻かれるようになっている。軸線X-Xは、シャフト15の軸線、およびオルタネータの軸方向対称軸線をなしている。

【0039】

ステータ12は、本体19を備えており、この本体19は、本例では主として、横方向の軟鉄積層体の軸方向スタックから構成されている。ステータ12の各積層体は、それ自身公知の態様でスロットを形成するためのノッチを備え、スロットは、本例では軸方向を向いている。ノッチは、円筒形である本体19の内周部で開口している。

【0040】

ノッチは、外側に向かって放射状に延び、ノッチには、ロータコイル23の軸方向導電性ストランドが嵌合されている。例えばフランス国特許公開第2603429号から判るように、内側で溝が半閉鎖状態となっている。

【0041】

オルタネータの各位相に対する電気コイル23は、例えば導電性ワイヤー、本例では、銅製ワイヤーの螺旋巻線から構成されており、このワイヤーは、電気絶縁材料、例えばポリエステルの2層のうちの少なくとも1つの層によってコーティングされている。一方の層は、ポリイミドタイプであり、他方は、ポリアミドイミドタイプのものである。

【0042】

電気コイル23とステータ12の本体19との間で、ステータ12の本体19の各ノッチ内には、電気絶縁シートが挿入されている。

【0043】

この絶縁シートは、国際公開第WO 02/29958号に記載されているように固定されており、オルタネータ10から発せられるノイズおよび音レベルを低下させ、コイル23と本体19とが短絡する危険性を、低減または解消することができるようになっている。

【0044】

従って、ステータ12の本体19の各ノッチ内のコイル23は、導電性ワイヤーを巻くことにより、導電性要素の束となっている。この導電性要素は、本体19のノッチを軸方向に貫通し、図3に示すように、本体19の各側面から突出する引き出し部39を形成するストランドを接合することにより、本体19の外側に延びている。

【0045】

国際公開第WO 92/06527号に記載されているように、ステータ12の軸方向溝を形成するノッチ内に取り付けられた、断面が円形または長方形のピンとする変形例もある。

10

20

30

40

50

【0046】

変形例として、フランス国特許公開第2819117号に記載されているように、ノッチごとに重なるよう、長方形断面およびU字形のピンのような4つの導電性要素を放射状に取り付けられてもよい。

【0047】

いずれのケースにおいても、ステータ12はコイル23を構成する巻線を有する。後述する部分16、18に、これらステータの巻線が固定されている。

【0048】

インダクタロータ13は、本例ではランデル（Lundell）タイプのクローリー極ロータである。このロータは、2つの金属ディッシュ64と66との間に取り付けられた円筒形電気コイル62から成っている。10

【0049】

各ディッシュは、クロー68および70をそれぞれ備え、これらのクローは、他のディッシュ66および64に向かって軸方向に延びている。

【0050】

各プレートとクローとの各組立体は、本例では、磁性スチールから製造された極ホイールを構成している。コイル62を支持するように、ディッシュ64と66の間には、磁性スチール製のコア67が軸方向に挿入されている。このコア67は、軸方向を向く環状となっており、本例では、厚いワッシャー状となっている。

【0051】

このコア67は、クロー68、70が障害とならないように、コア67に導電性要素を容易に巻くことができるよう、極ホイールから分離されている。各極ホイールは、シャフトのローレットの付けられた部分を介して、シャフト15に固定されており、ローレットのつけられた部分のうちの1つは、コア67を取り付けるように働く。20

【0052】

ディッシュ66の2つの隣接するクロー70の間に、ディッシュ64のクロー68が挿入されるように、クロー68と70とは、互いに回転角方向にずれており、ディッシュ64の2つのクロー68の間にディッシュ66のクロー70が挿入されるよう、クロー68と70とは、互いに回転角方向にずれている。

【0053】

これらのクローは、欧州特許第0515259号に記載されているように、磁気ノイズを低減するよう、面取り部（番号なし）を有する。30

【0054】

本例におけるオルタネータは、内部換気装置を有し、各ディッシュ64、66は、当該ケーシングの部品16、18に隣接するファン102、104をそれぞれ支持している。

【0055】

ケーシング12の各部品16、18は、空気が循環できるように孔開けされており、シャフト15の前端部および後端部をそれぞれ支持するように、ボールベアリング105、106の形態をしたベアリングを中心で支持している。

【0056】

従って、これらの部分16、18の一方18は、前方ベアリング（プーリーに隣接するベアリング）として知られており、他方、16は、後方ベアリングとして知られている。このプーリーは、シャフト15のネジ切りされた前端部にナットによって固定されている。40

【0057】

図3の上部において、ベアリング15の内側レースとプーリーとの間には、アングルブラケット横断部のスペーサ部品が挿入されている。図3の下部では、プーリー内にスペーサ部品が内蔵されており、軸方向の嵩を更に縮小することができるようになっている。

【0058】

ベアリング16、18は、中空状となっており、各ベアリングは、オルタネータの軸線X-Xに対して横方向に向いたディッシュ状をした平坦部を有し、各ベアリングは、その外50

周部、すなわち、軸方向を向く環状リムにおいて、接合平面の境界を定める機械加工された環状ラジアル端面 26、28 を有する。これらのベアリングは、固定ネジ 29 によって互いに接続されている。

【0059】

軸方向を向く各リムは、他方の軸方向端部が横方向を向くディッシュに接続されており、このディッシュは、対応するボールベアリング 105、106 を中心部で支持している。

【0060】

各ディッシュおよび各リムは、それぞれ、空気を循環させるための入口開口部および空気出口を公知の態様で有する。図3は、ベアリング 16、18 の出口に形成された空気入口開口部、特に後方ベアリング 16 のディッシュ 3 に形成された開口部 7 の一部を示している。ベアリング 16、18 の周辺リム内の図1の開口部 4 のタイプの2つの空気出口開口部を、点線で示してある。

10

【0061】

リム内の空気出口開口部は、引き出し部 39 に向いて位置している。

【0062】

ディッシュ 64 およびディッシュ 66 に対して、例えばスポット溶接によって固定された引き出し部 39 の径方向内側に、ファン 102、104 がそれぞれ設けられている。ロータ 13 に固定されたこれらファン 102、104 は、ノイズを低減するように、不均一に分散されていることが好ましいブレードを有し、本例では遠心タイプとなっている。したがって、ディッシュ内の開口部に空気が吸引され、空気は、この開口部に通過し、周辺リム内の、本例では、細長い形状の開口部を通って送られるようになっている。

20

【0063】

このファンは、2000年6月30日に、第0008549号をもって出願され、フランス国特許公開第2811156号として公開された明細書に記載されているような、2つのシリーズのブレードを有することができる。

【0064】

より詳細には、第1のシリーズのブレードよりも、第2のシリーズのブレードのほうが短く、第1のシリーズのブレードの2つの連続するブレードの間には、少なくとも1つの第2ブレードが挿入されている。

30

【0065】

より詳細については、上記明細書を参照されたい。この明細書におけるすべての変形例は、考えつくことができるものであり、1つのカバーで、第1シリーズのブレードをカバーしてもよい。

【0066】

従って、引き出し部 39 は、整流装置 1、オルタネータ 10 が有する電圧レギュレータ 116、およびボールベアリング 105、106 のように良好に冷却される。

40

【0067】

後方ベアリング 16 は、本例では三相のステータ 12 のコイル 23 が発生するAC電流を整流する整流装置 1、およびスリップリング 17 と協働するブラシホルダーを支持している。装置 1 により、コイル 23 が発生するAC電流は、DC電流に変換され、自動車のバッテリーを再充電し、電力消費装置、例えば照明装置、空調装置などに給電する。

【0068】

スリップリング 17 は、図3から判るように、ファン 104 の後方を通過するワイヤー接続部により、ロータ 13 の励磁コイル 62 の端部に、公知の態様で接続されている。コイル 62 が附勢されると、クロ-68、70 に公知の態様で磁極が形成される。

【0069】

空気が循環できるように、後述するように、孔開けされた保護カバー 27 も設けられている。

【0070】

電圧レギュレータ 116 およびダイオードが設けられた整流装置に、公知の態様で接続さ

50

れたブラシホルダーを、本例では、プラスチック製のカバー 27 がカバーしている。

【0071】

ブラシホルダーのブラシは、リング 17 を摺動するように働く。レギュレータデバイスにより、特にバッテリーを保護するよう、ステータに供給する電圧を制限することができる。

【0072】

ベアリング 16、18 は、これらのベアリングを、自動車の固定部品に固定するためのラグを有し、これらのベアリングは、本例では、ネジを使用した締結によって一体に接続されている。図 3 には、ネジのうちの 1 つが示されている。従って、自動車用オルタネータは、そのベアリング 16、18 を介してアースに電気的に接続されている。

10

【0073】

変形例として、ベアリングのディッシュを軸方向に傾斜させることもある。

【0074】

更に変形例として、後方ファンがより強力であることを前提に、ファン 102 が省略されることもある。

【0075】

一般に、オルタネータは、コイル 23 が良好に冷却され、オルタネータが大パワーとなると同時に、軸方向にコンパクトとなり、あまりノイズがおきくならないよう、引き出し部 39 の下方において、ケーシングの内部に設置され、ロータに固定された少なくとも 1 つの内側ファン 13 を有する。

20

【0076】

変形例として、ブーリーの外側に、1 つのファンが設けられることがある。

【0077】

本発明は、特に、プラスダイオード 8 のための支持体を形成し、かつ放熱器を構成するプレート 9 に関するものである。1 つの特徴によれば、このプレート 9 は、放熱を良好にするようになっており、放熱器として知られるものである。

【0078】

図 4 ~ 図 6 から判るように、本発明に係わる整流装置は、冷却を良好にできるので、それ自身に、3 つのプラスダイオード 8 を閉じ込めることができる。

30

【0079】

図 1 とは異なり、これらダイオード 8 のうちの 2 つは、特にマイナスダイオードのテール 111 の孔 111'、および整流装置を後方ベアリングに固定するネジ 115 とほぼ同じ円の上において、プレートの外周部近くに配置されている。

【0080】

正極ターミナルとして知られるターミナル 117 の近くには、第 3 ダイオードが配置されている。より詳細には、プレートには、ターミナル 117 をディッシュ 3 に固定するための延長部を、ターミナル 117 の近くに設けてある。

【0081】

ダイオード 8 が強制的に挿入される孔は、符号 8' で示されており、ネジ 115 を通過させるための孔は、115' で表示されている。従って、図から明瞭に判るように、放熱器 9 の中心部分には、なにもない状態となっている。

40

【0082】

放熱器 9 の上面は、多数のフィン 118、119 を支持しており、これらフィンは、プレートの面に直角に突出し、プレートの径方向内側エッジから、ほぼ放射状に伸びている。

【0083】

第 1 フィンとして知られるフィン 118 は、本発明によれば、放熱プレートの外周部まで実質的に伸びており、第 2 フィンとして知られる他方のフィン 119 は、ダイオード、および固定ネジを収容し、マイナスダイオードのテールが貫通する孔まで伸びている。

【0084】

ここで、第 1 フィン 118 よりも短い第 2 フィン 119 の一部は、本発明によれば、プレ

50

ート9の外周部に配置されたプラスダイオード8の近くまで延び、プレート9を良好に冷却できる。他の第2フィン19は、固定ネジ115の近くまで延びている。

【0085】

中心ダイオードのできるだけ近くを囲むよう、外周部の形状が定められた2つの長いフィン118の間に、中心プラスダイオードが位置している。長いフィン118のうちの1つが、他の2つのダイオード8の近くに位置している。

【0086】

中心プラスダイオード8に運動するフィン118の外周部はカーブしており、それらの1つは、この中心ダイオードを良好に囲むように他方に向いている。

【0087】

図示の例では、プレート状をした放熱器9には、12枚のフィン118、119が設けられている。これらフィンは、プレートの両側に設けられている。図5は、プレート9の質量を増すよう、一部のフィンが広くなっていることを示している。

【0088】

より詳細には、熱を良好に除去できるよう、プレート9のディッシュ3に向く下面には、長いフィン119'、と、上面と同じような短いフィン118'とが設けられている。これらフィン119'、118'の一部は、極めて広くなっている。

【0089】

図に明瞭に示されているように、利用可能な領域内のフィンの間において、プレートに孔が開けられている。この開口部120は、内側に収束するラジアルフィン118、119と共に、軸方向の冷却チャンネルを構成している。その中心は、内側ファンにより給気され、ペアリング内の横方向開口部5を通過するように送られる冷却空気の加速された流れを保証するようになっている。

【0090】

図7は、中間絶縁プレート13を示す。このプレート13は、プラスダイオードを支持するプレート9に対応するように、プラスダイオード8のテールを通過させるための孔122、固定ネジ115を通過させるための孔123、およびマイナスダイオード10のテールを通過させるための孔124を有する。

【0091】

これら孔のすべては、外周部の近くにある環状外周領域内にあり、別に位置する環状部分には、冷却空気流のための広い開口部126が設けられており、これら開口部126の配置は、プレート8の開口部120の配置に対応している。

【0092】

本発明に関連し、絶縁プレートのこの環状部分125を省略し、プレート13のサイズを縮小することも可能である。

【0093】

公知のように、ネジ115のヘッドは、プレート113に属するハウジングの端部に当接し、プレート9をプレート113に接触させるように、プレート9をクランプしている。

【0094】

図8は、本発明に係わる整流装置をキャップするようになっているカップ状をした保護カバー27を示す。この保護カバー27は、細いラジアルリブ128、および細い同軸状リブ128だけが残るように、放熱器の上方に位置する部分が大きく孔開けされているので、放熱器に完全に適するような構造となっている点で異なっている。

【0095】

冷却フィン119、118と同じように、放射状に延びる、このようにして得られる大きい開口部130は、吸引される冷却空気の純粋に軸方向の加速された流れを保証し、よって、本発明に係わるオルタネータの整流装置の最適な冷却を保証するものである。

【0096】

開口部を有するのは、カバー27の横方向を向くディッシュ状の中心部分を形成する部分だけであり、中心ディッシュの外周部に接続されたカバーの軸方向を向く環状リムは、開

口部を有していない。従って、開口部 120 が後方ベアリングの開口部 7 に向いていることを前提に、空気は、開口部 130 および 120 を軸方向に通過する。

【0097】

リブまたは所定材料のラジアルストリップ 128 の厚さは、フィン 118、119 の厚みに応じて決まり、本例では、一般に後者の厚さと等しくなっている。リブ 128 は、フィン 118、119 の方を向いている。

【0098】

ここで、所定材料のリブ、またはストリップ 129 は、円形に連続している。このことは、開口部 130 が 2 つに分割されることを意味している。開口部 130 の第 1 部分は、プレート 9 の開口部 120 に向き、各開口部は、開口部 120 よりも大きいラジアル長さ、すなわち、高さを有することが好ましい。開口部 130 の第 2 部分が、特にプレート 9 の外周部に設けられた 2 つのプラスダイオード 8 に向くように、リブ 129 は、開口部 120 を覆うように延びている。

【0099】

このようにして、プレートは良好に冷却され、カバー 27 はより強力になっている。カバー 27 は、公知の態様で、クリップ締結により、ネジ 115 に固定されている。ネジ 115 には、この目的のために、国際公開第 WO 01/60762 号に記載されているようなネジ切りされた部分が設けられている。

【0100】

カバー 27 の軸方向を向く環状リムは、開口部を有していない。

【0101】

図 9 は、後方ベアリングと整流装置を保護するカバーとによって形成された組立体の一体化された変形例 132 を示し、整流装置を保護するカバーは、この組立体内に固定された整流装置の放熱器をカバーする部分に軸流開口部 132 を有する。

【0102】

この場合、図 1 のディッシュ 3 の構造を有するプレートに、マイナスダイオードが取り付けられている。このプレートは、後方ベアリング 16 がアースに接続されていること条件に、任意の手段により、後方ベアリングに固定されている。従って、カバー 132 は、後方ベアリングの平坦部を構成するカバーの中心部分に対して軸方向に突出する管状部分からスタートする、リブ状をした追加厚み部分を有することが好ましい。このリブの自由端は、固定シャフトに接続されている。従って、オルタネータは、そのロータシャフトにより真空ポンプを駆動できる。簡潔にするために、リブ、管状部分、および固定シャフトには、符号が付けられていない。

【0103】

いずれのケースにおいても、整流装置は、ラジアルフィンを備えた孔開きプレート状をした放熱器 9 と、コネクタを備えたプレート 13 と、マイナスダイオードのための支持体を構成する第 3 支持体とを備え、この第 3 支持体は、後方ベアリングまたは後方ベアリングに固定されたプレートによって形成されている。

【0104】

従って、プラスダイオードを支持するプレートを覆うようにコネクタが取り付けられ、換気を阻害している上記ドイツ特許公開第 19705228 号に記載されている例とは異なり、3 つの主要部品に依存している。

【0105】

本発明によれば、放熱器 9 と後方ベアリングのディッシュ 3、またはこれに固定されたプレートとの間に、コネクタ 13 が挿入されており、ピンの間に、ラジアルチャンネルが形成されている。プラスダイオードのテールは、マイナスダイオードの支持体の方を向いており、開口部 120 を覆うように、2 個以下のプラスダイオードが延びている。

【0106】

ラジアルフィン、これらフィンの間に設けられた開口部、およびプラスダイオードを支持する放熱器により、加速された冷却空気、従って最適にされた流れが得られる。

10

20

30

40

50

【 0 1 0 7 】

ベアリング内、およびこれに寄与するコネクタを形成する絶縁プレート内で、開口部は互いに向き合っている。プラスダイオードが支持プレートの外周部近くに配置されていることを条件に、コネクタを小型にすることができる。

【 0 1 0 8 】

開口部が空気流を促進することによって圧力低下を少なくするように、すべての開口部が構成されることに注目しなければならない。またカバー内の開口部は、プラスダイオードを支持する放熱器のフィンと整合していることも強調しなければならない。

【 0 1 0 9 】

フィン 118、119 が内部に向かって収束していることにより、冷却流体、本例では、別の流体としての空気の流れを加速することが可能になっている。放熱器 9 の外周部に設けられたプラスダイオードのうちの 2 つのデバイスは、放熱器 9 において、例えば、全体の横断面が台形をした追加厚さ部分を形成することによって、このポイントにおける放熱器 9 の厚さを増すことが可能となっている。従って、この熱は良好に除去され、プレート 9 が強化されている。放熱器 9 は、アルミニウムをベースとして成形することが好ましい。10

【 0 1 1 0 】

図 3 における 46、50、34 は、国際公開第 WO 02 / 29958 号に記載されているような平らな環状シール、伝熱性樹脂およびパッドを、それぞれ示している。

【 0 1 1 1 】

本体 19 と前方ベアリング 18 のリムの符号のついていないショルダーとの間には、シール 46 が軸方向に挿入されている。20

【 0 1 1 2 】

ベアリング 18 のリムの内周部と、本体 19 の外周部との間には、径方向に樹脂が挿入されている。

【 0 1 1 3 】

本体 19 と後方ベアリングのリム（符号なし）のショルダーとの間には、軸方向にパッド 34 が挿入されている。このパッド 34 は、シール 46 に類似した弾性材料から製造されており、このパッドは、例えばエラストマーをベースとしている。30

【 0 1 1 4 】

パッド 34 は、国際公開第 WO 92 / 29958 号からわかるように、後方ベアリング 16 に属す相補的ハウジング内に、パッドを取り付けるためのラグ 38 を有する。こうして樹脂 50 が半径方向に弾性変形するので、ステータとベアリング 16、18 との間の機械的な結合を防止できる。

【 0 1 1 5 】

従ってオルタネータのノイズが低下し、ロータ、特にそのコイル 62 を、より強力にするよう、樹脂 50 によって熱を良好に除去することが可能となっている。

【 0 1 1 6 】

これらはいずれも、より多くの熱を除去できる、本発明に係わる整流装置 1 によって可能になっている。40

【 0 1 1 7 】

コイルを変形させるように、コイルの少なくとも 1 つの領域に力を加える整形工具を使って、電気コイル 23 および／または 62 を整形することが好ましい。ここでコイル 62 のサイズは大きくなっている、本発明に係わる装置 1 により可能となるオルタネータの電力と共に容積を増すように、コイル 62 の外周部は、凸状または樽形状となっている。

【 0 1 1 8 】

より詳細については、国際公開第 WO 02 / 2958 号を参照されたい。コイル 23、62 は、結合材料、例えばポリマー、好ましくは熱硬化性ポリマーでカバーした絶縁シートを介し、コア 67 上において、本体 19 のノッチ内にそれぞれ取り付けられている。加熱により、コイル 23、62 は、本体 23 およびコア 67 にそれぞれバインドされている50

。

【0119】

コイル62を形成するのにフィンを使用できる。上記のことは、いずれも装置1によって可能となっている。

【0120】

本発明によれば、オルタネータは、より強力であり、低ノイズとなっている。当然ながら、樹脂50、パッド34およびシール46を設けることは必須ではない。

【0121】

2001年5月31日に出願されたフランス国特許願第0107178号に記載されているように、コイルは、コア67を取り付けられた管状要素を覆うように、導電要素を巻くことによって、変形例として製造されており、コア67は、2つの部品から製造されており、各部品は、ディッシュ66、64の一方からスタートしている。10

【図面の簡単な説明】

【図1】

自動車用オルタネータの後方ベアリングに取り付けられた公知の整流装置の斜視図である。

。

【図2】

図1に示されたベアリングの内側面の軸方向図である。

【図3】

本発明に係わる整流装置が設けられたオルタネータとしての回転電気機器の軸方向断面図である。20

【図4】

カバーのない、図3の整流装置の部分斜視図である。

【図5】

図4に示された整流装置の放熱器の斜視図である。

【図6】

図5に示された放熱器を上から見た図である。

【図7】

図4に示された整流装置の絶縁中間プレートを上から見た図である。

【図8】

図4に示された整流装置に適合するようになっている保護カバーの斜視図である。30

【図9】

本発明の別の実施例に係わる、保護カバーが内蔵されたオルタネータの後方ベアリングの斜視図である。

【符号の説明】

1	整流装置
3	ディッシュ
6	コア
7	開口部
8	プラスダイオード
9	プレート
10	オルタネータ
12	ステータ
13	ロータ
15	シャフト
16、18	部分
17	スリップリング
19	本体
23	ロータコイル
26、28	端面

10

20

30

40

50

2 9	固定ネジ	
3 9	引き出し部	
6 2	コイル	
6 4、6 6	ディッシュ	
6 7	コア	
6 8、7 0	クロ-	
1 0 2、1 0 4	ファン	
1 0 5、1 0 6	ボールベアリング	
1 1 1	テール	
1 1 1	孔	10
1 1 3	プレート	
1 1 5	固定ネジ	
1 1 7	ターミナル	
1 1 8、1 1 9	フィン	
1 2 0	開口部	
1 2 2、1 2 3、1 2 4	孔	
1 2 6	開口部	
1 2 8、1 2 9	リブ	
1 3 0	開口部	
1 3 2	カバー	20

【国際公開パンフレット】

(12) DEMANDE INTERNATIONALE PUBLIÉE EN VERTU DU TRAITÉ DE COOPÉRATION
EN MATIÈRE DE BREVETS (PCT)(19) Organisation Mondiale de la Propriété
Intellectuelle
Bureau international(43) Date de la publication internationale
21 novembre 2002 (21.11.2002)

PCT

(10) Numéro de publication internationale
WO 02/093717 A1(51) Classification internationale des brevets⁷ : H02K 11/04, 9/02, 5/20

(72) Inventeur(s) et

(21) Numéro de la demande internationale : PCT/FR02/01631

(75) Inventeur(s)/Déposant(s) (pour US seulement) : SCHULTE,
Dirk [FR/FR]; 37, rue Franchet; F-94360 Bry sur Marne
(FR). HIRSOU, Daniel [FR/FR]; 7, rue Alfred Lambert,
F-62600 Berck sur Mer (FR). Le Quere, Eric [FR/FR]; 14,
rue J. Duclou, F-62224 Iquien Plage (FR).

(22) Date de dépôt international : 15 mai 2002 (15.05.2002)

(74) Mandataire : GAMONAL, Didier; Valgo Equipements
Électriques Moteurs, 2, rue André-Bonelle, F-94017
Créteil Cedex (FR).

(25) Langue de dépôt : français

(81) États désignés (national) : BR, CN, JP, KR, MX, US.

(30) Données relatives à la priorité :

01/06386 15 mai 2001 (15.05.2001) FR
PCT/FR01/03095 8 octobre 2001 (08.10.2001) FR(84) États désignés (régional) : brevet européen (AT, BE, CH,
CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT,
SE, TR).(71) Déposant (pour tous les États désignés sauf US) : VALEO
EQUIPEMENTS ELECTRIQUES MOTEUR [FR/FR];
2, rue André-Bottin, F-94017 Créteil Cedex (FR).Publiée :
avec rapport de recherche internationale

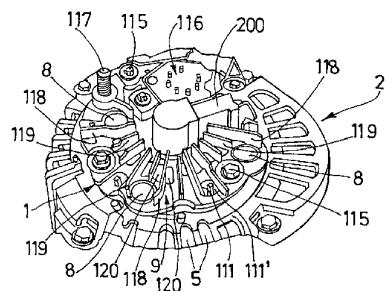
[Suite sur la page suivante]

(54) Title: ROTATING ELECTRICAL MACHINE, IN PARTICULAR ALTERNATOR FOR MOTOR VEHICLE

(54) Titre : MACHINE ELECTRIQUE TOURNANTE, NOTAMMENT ALTERNATEUR POUR VEHICULE AUTOMOBILE



WO 02/093717 A1



(57) Abstract: The invention concerns a rotating electrical machine comprising a rear bearing (2), a rectifying arrangement (1) for the current produced by the machine, which comprises a plurality of positive diodes (8) supported by a globally plate shaped heat sink (9) and a plurality of negative diodes (10) supported by plate-shaped support means integrally forming part of the rear bearing, the support plate (9) of the positive diodes (8) comprising a large number of cooling fins in the form of fins (18, 19) extending substantially radially on the plate, while an orifice (20) allowing through cooling air is provided between each pair of adjacent fins (18, 19), some fins (18) extending substantially up to the outer periphery of the support plate (9).

[Suite sur la page suivante]

WO 02/093717 A1

avant l'expiration du délai prévu pour la modification des revendications, sera républiée si des modifications sont reçues

En ce qui concerne les codes à deux lettres et autres abréviations, se référer aux "Notes explicatives relatives aux codes et abréviations" figurant au début de chaque numéro ordinaire de la Gazette du PCT.

(57) Abrégé : L'invention concerne une machine électrique tournante, comprenant un palier arrière (2), un agencement de redressement (1) du courant produit par la machine, qui comprend une pluralité de diodes positives (8) supportées par un dissipateur de chaleur en forme générale de plaque (9) et une pluralité de diodes négatives (10) supportées par des moyens de support en forme de plaque formant avantagusement partie du palier arrière, la plaque (9) de support des diodes positives (8) comprenant un grand nombre de nervures de refroidissement qui présentent la forme d'ailettes (18, 19) s'étendant sensiblement radialement sur la plaque, tandis qu'une ouverture (20) de passage d'air de refroidissement est prévue entre chaque paire d'ailettes adjacentes (18, 19), certaines ailettes (18) s'étendant sensiblement jusqu'à la périphérie externe de la plaque de support (9).

WO 02/093717

PCT/FR02/01631

1

"Machine électrique tournante, notamment alternateur pour véhicule automobile".

5 Domaine de l'invention

L'invention concerne une machine électrique tournante, notamment un alternateur pour véhicule automobile, du type comprenant un palier avant et un 10 palier arrière sur lesquels sont fixés des enroulements de stator et dans lesquels est monté rotatif un arbre de rotor, un agencement de redressement comprenant une pluralité de diodes positives supportées par un dissipateur de chaleur en forme générale de plaque de 15 support et une pluralité de diodes négatives supportées par un élément de support en forme de plaque, ces plaques étant axialement juxtaposées en étant fixées sur le palier arrière, et un dispositif de refroidissement par circulation d'un courant axial d'un fluide de 20 refroidissement, tel que de l'air, à travers des ouvertures axiales dans lesdites plaques, au moins certaines ouvertures dans la plaque de support des diodes positives étant pourvues de nervures de 25 refroidissement. Avantageusement la plaque de support des diodes négatives fait partie du palier arrière.

Etat de la technique

Une machine électrique de ce type est décrite dans 30 le document DE-A-19705228. Les ouvertures qui sont pratiquées dans la plaque de support des diodes positives comportent cinq ouvertures d'une étendue angulaire importante dont deux d'une forme générale trapézoïdale. Ces ouvertures trapézoïdales sont

WO 02/093717

PCT/FR02/01631

?

entourées chacune par une nervure faisant saillie axialement de la plaque.

5 Ce dispositif de refroidissement à ouvertures axiales assure certes un refroidissement plus efficace que les dispositifs de refroidissement sans ouvertures axiales, mais n'est cependant pas encore satisfaisant.

Il en est de même du dispositif de refroidissement décrit dans le document US-A-5,646,838.

Dans ce document la plaque de support des diodes positives comporte un grand nombre de nervures qui présentent la forme d'ailettes s'étendant sensiblement radialement sur la plaque ; une ouverture de passage d'air de refroidissement étant prévue entre chaque paire d'ailettes adjacentes. Les ailettes s'étendent à partir du bord interne de la plaque de support et à distance de la périphérie externe de la plaque et des diodes positives ; la plaque étant plus épaisse au niveau des ailettes.

20 Objet de l'invention

La présente invention a pour but d'améliorer le refroidissement d'une machine tournante du type indiqué plus haut.

25 Pour atteindre ce but, la machine de l'invention est caractérisée en ce que des premières ailettes s'étendent sensiblement jusqu'à la périphérie extérieure de la plaque de support des diodes positives en sorte que la plaque soit refroidie sur toute son étendue
30 radiale.

Selon une autre caractéristique de l'invention, au moins deux diodes positives sont disposées près de la périphérie extérieure de la plaque de support des diodes positives et des secondes ailettes s'étendent jusqu'au 35 dites diodes à proximité de celles-ci. Grâce à cette

WO 02/093717

PCT/FR02/01631

3

disposition les ouvertures peuvent être managées radialement en dessous des diodes et l'épaisseur de la plaque peut être augmentée au niveau des diodes pour mieux refroidir celles-ci. En outre les secondes 5 ailettes participent au refroidissement.

Selon encore une autre caractéristique de l'invention, les ouvertures dans la plaque de support des diodes positives constituent avec les ailettes qui les délimitent des canaux d'écoulement accéléré de l'air de 10 refroidissement.

Avantageusement au moins une première ailette est à proximité d'une diode positive pour encore mieux refroidir celle-ci.

Avantageusement la machine électrique tournante 15 comporte une partie de capot qui comporte au niveau des ailettes de la plaque de support des diodes positives des ouvertures radiales correspondantes à celles de la plaque de support des diodes positives.

Ces ouvertures sont délimitées par des bandes de 20 matière ou nervures radiales étroites. L'épaisseur de ces nervures est fonction de l'épaisseur des ailettes ; les nervures étant disposées en dessous des ailettes. On obtient une communication entre les ouvertures du capot et celles de la plaque de support des diodes positives.

Les ouvertures du capot ont une étendue radiale 25 supérieure à celles de la plaque de support des diodes positives.

Avantageusement les ouvertures du capot sont divisées en deux à la faveur de bande de matière ou 30 nervures coaxiales, c'est à dire circonférentielles. Une première partie des ouvertures du capot est en regard des ouvertures de passage de la plaque de support des diodes positives, la deuxième partie des ouvertures étant implantée à la périphérie externe du capot.

Brève description des dessins

L'invention sera mieux comprise et d'autres buts, caractéristiques, détails et avantages de celle-ci apparaîtront plus clairement dans la description explicative qui va suivre faite en référence aux dessins schématiques annexés donnés uniquement à titre d'exemple illustrant un mode de réalisation de l'invention et dans lesquels :

- 10 - la figure 1 est une vue en perspective d'un agencement de redressement connu, monté sur le palier arrière d'un alternateur pour véhicule automobile;
- la figure 2 est une vue axiale de la face interne du palier selon la figure 1 ;
- 15 - la figure 3 est une vue en coupe axiale d'une machine électrique tournante sous la forme d'un alternateur équipé d'un agencement de redressement selon l'invention ;
- la figure 4 est une vue en perspective partielle 20 de l'agencement de redressement de la figure 3 sans le capot ;
- la figure 5 est une vue en perspective d'un dissipateur de chaleur de l'agencement de redressement selon la figure 4 ;
- 25 - la figure 6 est une vue de dessus du dissipateur selon la figure 5 ;
- la figure 7 est une vue de dessus d'une plaque intermédiaire isolante de l'agencement de redressement selon la figure 4 ;
- 30 - la figure 8 est une vue en perspective, d'un capot de protection destiné à coiffer l'agencement de redressement selon la figure 4, et
- la figure 9 est une vue en perspective d'un palier arrière d'alternateur, à capot de protection

WO 02/093717

PCT/FR02/01631

5

intégré, selon un autre mode de réalisation de l'invention.

5 **Description de modes préférentiels de réalisation de
l'invention**

Pour faciliter la compréhension de l'invention et le contexte dans lequel celle-ci s'inscrit, on décrira tout d'abord, en se référant aux figures 1 et 2, la 10 structure générale classique d'un agencement de redressement et sa disposition dans un alternateur polyphasé pour véhicule automobile du type décrit par exemple dans le document EP-B-0515259 (US-A-5270605) auquel on se reportera pour plus de précisions.

15 Comme le montre la figure 1, un agencement de redressement désigné par le numéro de référence 1 est fixé sur le palier arrière 16 de l'alternateur. Ce palier arrière porte, dans l'alternateur, avec un palier avant approprié, l'arbre de rotor et le stator de 20 l'alternateur. Ces paliers appartiennent à un carter de support fixe de l'alternateur destiné à être fixée sur une partie fixe du véhicule automobile. C'est pour cette raison que le palier 16 présente une oreille. Ces paliers sont électriquement conducteurs en étant 25 classiquement à base d'aluminium et reliés à la masse. Le stator comporte un corps de stator dans lequel sont fixés les enroulements de stator dont les sorties sont reliées à l'agencement de redressement décrit ci-après. Le palier arrière 16 présente la forme générale d'une 30 coupelle comportant une partie formant plateau central 3 d'orientation transversale et un rebord annulaire extérieur 4 d'orientation axiale comportant des ouvertures latérales 5 de sortie de l'air de refroidissement qui a été aspiré par un ventilateur

WO 02/093717

PCT/FR02/01631

6

interne assorti au rotor de l'alternateur visible à la figure 3.

Le palier 16 comprend une âme cylindrique centrale 6 de logement, par l'intermédiaire d'un roulement à 5 billes, de l'arbre de rotor. Le plateau 3 est pourvu autour de l'âme 6 d'ouvertures d'entrée d'air 7 destinées au passage de l'air de refroidissement de l'alternateur.

L'agencement de redressement comprend trois 10 paires de diodes positives et négatives, une diode positive étant doublée. Les diodes sont du type à corps cylindrique constituant une borne de connexion, tandis que la seconde borne est constituée par une queue s'étendant axialement à partir de ce corps. Pour une 15 réduction de l'encombrement axial les diodes positives et négatives sont montées tête bêche, les queues des diodes positives pénétrant dans les ouvertures 7. Les diodes positives indiquées en 8 sont emmanchées à force par leur corps cylindrique dans un support-dissipateur 20 de chaleur en forme générale d'une plaque 9. Les diodes négatives 10 sont emmanchées à force par leur corps cylindrique dans la zone annulaire du plateau 3 du palier arrière 16, qui entoure la portion comportant les ouvertures susmentionnées 7. Les queues désignées par 25 111 des diodes négatives traversent des trous 111 pratiqués dans la plaque support 9 des diodes positives 8. Cette plaque 9 est séparée du plateau 3 du palier 16 par un corps en forme générale de plaque 13 en un 30 matériau électriquement isolant, surmoulé sur un ensemble de conducteurs plats. Cette plaque 13 est appelée connecteur et, grâce à ses conducteurs plats, forme avec les diodes positives et négatives un pont redresseur pour redresser le courant à la sortie des 35 enroulements de stator. Ces enroulements sont agencés pour former les phases de stator et comportent des

WO 02/093717

PCT/FR02/01631

7

conducteurs électriques reliés à la plaque 13. Ainsi le numéro de référence 114 désigne les éléments en forme de pince-fils pour le passage de ces conducteurs destinés à relier les phases et le neutre du stator triphasé de 5 l'alternateur à l'agencement de redressement. La plaque 9 de support des diodes positives 8 et la plaque intermédiaire isolante 13 sont axialement juxtaposées et fixées à isolation électrique par des vis 115 au palier 16. Pour compléter la description, des numéros de 10 référence 116 et 117 désignent respectivement le dispositif électronique de régulation de l'alternateur et la borne de sortie de l'alternateur qui est connectée 15 au support dissipateur 9 et au réseau de bord du véhicule automobile, ainsi qu'à la borne positive de la batterie. La plaque 9 est métallique. Bien entendu un capot en matière plastique recouvre l'agencement de redressement 1. Ce capot est agencé pour permettre une circulation de l'air en étant fixé sur le palier arrière. Un tel capot est visible dans les figures 3 et 20 8 et est également en forme de coupelle.

En se référant aux figures 3 à 9 on décrira ci-après les mesures constructives proposées, conformément à l'invention, pour optimiser le refroidissement de l'agencement de redressement. On 25 utilisera les mêmes références pour les éléments identiques ou similaires à ceux montrés sur les figures 1 et 2. L'agencement de redressement 1 selon l'invention est avantageusement applicable aux alternateurs de véhicules automobiles ou aux machines électriques de 30 type "altermo-démarreurs" connues en soi, qui sont aptes à fonctionner alternativement comme moteur électrique notamment de démarreur ou comme alternateur. Pour plus de précisions, on se reportera à la demande FR-0003131 déposée le 10 mars 2000 et publiée sous le 35 numéro FR-A- 2 806 223 ou au document WO 01/69762. Cet

WO 02/093717

PCT/FR02/01631

8

almeno-démarreur a la structure d'un alternateur classique et présente des moyens de suivi, avantageusement du type magnétique, de la rotation du rotor pour injecter du courant dans le bobinage du stator au moment désiré lorsque la machine fonctionne en mode démarreur.

On a représenté à la figure 3 un alternateur 10 compact à ventilateurs internes 102, 104 équipé d'un 10 agencement de redressement selon l'invention.

Cet alternateur, ici du type multiphasé, est constitué principalement d'un carter de support en deux portions 16, 18 ajourées pour circulation de l'air. Le carter porte intérieurement deux organes principaux qui 15 sont le stator 12 et le rotor 13 comme décrit par exemple dans le document US A 527 605 (EP B 0 515 259) auquel on se reportera pour plus de précisions.

Le stator 12 entoure le rotor 13 qui est solidaire d'un arbre 15 sur l'extrémité arrière duquel sont fixées 20 deux bagues collectrices 17, tandis qu'une poulie (non référencée) est solidaire de l'extrémité avant de l'arbre 15. Cette poulie est destinée à recevoir une courroie faisant partie d'un dispositif de transmission de mouvement entraîné par le moteur à combustion interne 25 du véhicule automobile. L'axe X-X constitue l'axe de l'arbre 15 et l'axe de symétrie axiale de l'alternateur.

Le stator 12 est composé d'un corps 19 qui est ici constitué principalement par un empilement axial de tôles transversales en fer doux. De manière connue en 30 soi, les tôles du stator 12 comportent chacune des encoches pour formation de rainures ici axiales. Ces encoches débouchent à la périphérie interne du corps 19 de forme cylindrique.

Les encoches s'étendent radialement vers 35 l'extérieur et reçoivent des brins axiaux électriquement

WO 02/093717

PCT/FR02/01631

9

conducteurs d'un bobinage électrique d'induit 23. Les rainures sont semi-fermées vers l'intérieur comme visible par exemple dans le document FR A 2 603 429.

Le bobinage électrique 23 est, pour chaque phase de 5 l'alternateur, constitué par exemple par l'enroulement en spires d'un fil électriquement conducteur, ici un fil de cuivre, qui est revêtu d'au moins une couche en matériau isolant électrique par exemple un polyester en deux couches l'une du type polyimide, l'autre du type 10 polyamide imide.

Une feuille isolante électrique est interposée dans chaque encoche du corps 19 du stator 12 entre le bobinage électrique 23 et le corps 19 du stator 12.

Cette feuille isolante est immobilisée décrite dans 15 le document WO 02/29958 pour réduire les bruits et le niveau sonore de l'alternateur 10, permet de diminuer ou de supprimer les risques de court-circuit entre le bobinage 23 et le corps 19.

Du fait de l'enroulement du fil électriquement 20 conducteur, le bobinage 23 comporte donc dans chaque encoche du corps 19 du stator 12 un faisceau d'éléments électriquement conducteurs, qui traversent axialement les encoches du corps 19 et sont prolongés à l'extérieur du corps 19 par des brins de jonction qui forment des 25 chignons 39 s'étendant en saillie de part et d'autre de ce corps 19 conformément à la figure 3.

En variante, il est fait appel à des épingle de section circulaire ou rectangulaire montées dans les 30 encoches formant les rainures axiales du stator 12 comme décrit dans le document WO-92/06527. En variante quatre éléments électriquement conducteur, tels que des épingle de section rectangulaire en forme de U, sont montés radialement à superposition par encoche comme décrit dans le document FR-A- 2 819 117. Dans tous les 35 cas le stator 12 présente des enroulements constituant

WO 02/093717

PCT/FR02/01631

10

le bobinage 23. Ces enroulements de stator sont fixés sur les portions 16, 18 d'écrites ci-après.

Le rotor 13 inducteur est ici un rotor à griffes du type Lundel, qui est constitué par un bobinage électrique 62 cylindrique qui est monté entre deux plateaux 64 et 66 métalliques comportant chacun des griffes 68 et 70 respectivement, qui s'étendent axialement en direction de l'autre plateau 66 et 64. Chaque ensemble plateau-griffes constitue une roue polaire ici en acier magnétique. Un noyau 67, ici également en acier magnétique, est intercalé axialement entre les plateaux 66, 64 pour porter le bobinage 62. Le noyau 67 est de forme annulaire d'orientation axiale en étant ici en forme d'une rondelle épaisse. Ce noyau 67 est distinct des roues polaires pour faciliter l'enroulement de l'élément électriquement conducteur sur le noyau 67 sans que les griffes 68, 70 gênent. Chaque roue polaire est fixée sur l'arbre 15 à la faveur de parties moletées de l'arbre, dont une sert à la fixation du noyau 67. Les griffes 68 et 70 sont décalées angulairement l'une par rapport à l'autre de façon qu'une griffe 68 du plateau 64 s'intercale entre deux griffes 70 adjacentes du plateau 66, et inversement. Les griffes présentent des chanfreins (non référencés) pour réduire les bruits magnétiques comme dans le document EP-B-0.515.259.

L'alternateur est ici à ventilation interne, chaque plateau 64, 66 portant un ventilateur respectivement 102, 104 adjacents à la portion 16, 18 concernée du carter. Chaque portion 18, 16 de carter 12 est ajourée pour circulation de l'air et porte centralement un palier sous la forme d'un roulement à billes respectivement 105, 106 pour support respectivement de l'extrémité avant et arrière de l'arbre 15. Ainsi l'une 35 18 de ces portions 16, 18 est appelée palier avant

WO 02/093717

PCT/FR02/01631

11

(celle adjacente à la poulie) et l'autre 16 palier arrière. On notera que cette poulie est fixée par un écrou sur l'extrémité avant filetée de l'arbre 15. Dans la partie supérieure de la figure 3 une entretoise de 5 section en forme d'équerre est intercalée entre la bague interne du roulement 105 et la poulie. Dans la partie inférieure de cette figure 3 l'entretoise est intégrée à la poulie ce qui permet de réduire encore l'encombrement axial.

10 Les paliers 16, 18 ont une forme creuse et comportent chacun un fond en forme de plateau d'orientation transversale par rapport à l'axe X-X de l'alternateur et à leur périphérie externe un rebord annulaire d'orientation axiale comportant chacun une 15 face radiale annulaire d'extrémité usinée concernée 26, 28 délimitant un plan de joint. Les paliers sont reliés entre eux par des vis de fixation 29.

Chaque rebord d'orientation axiale se raccorde à son autre extrémité axiale au plateau d'orientation 20 transversal portant centralement le roulement à billes 105, 106 concerné. De manière connue chaque plateau et chaque rebord comporte respectivement des ouvertures d'entrée d'air et des ouvertures de sortie d'air pour la circulation de l'air. A la figure 3 on voit certaines 25 des ouvertures d'entrée d'air réalisées dans les plateaux des paliers 16, 18, en particulier les ouvertures 7 réalisées dans le plateau 3 du palier arrière 16, et on a représenté en pointillés deux ouvertures de sortie d'air, du type de l'ouverture 4 de 30 la figure 1, des rebords périphériques des paliers 16, 18.

Les ouvertures de sortie d'air des rebords sont implantées en regard des chignons 39.

Les ventilateurs 102, 104 sont implantés radialement 35 en dessous des chignons 39 en étant fixés, par exemple

WO 02/093717

PCT/FR02/01631

12

par soudure par points, respectivement au plateau 64 et au plateau 66. Ces ventilateurs 102, 104, solidaires du rotor 13, comportent des pales réparties avantageusement de manière irrégulière pour réduction des bruits et sont 5 ici du type centrifuge. L'air est ainsi aspiré et traverse les ouvertures des plateaux pour être refoulé à travers les ouvertures, ici de forme oblongue, des rebords périphériques.

Les ventilateurs peuvent comporter deux séries de 10 pales comme décrit dans le document FR00 08549 déposé le 30 juin 2000 et publié sous le numéro FR-A- 2 811 156.

Plus précisément la deuxième série de pales est plus courte que la première série de pales et au moins une deuxième pale est intercalée entre deux pales 15 consécutives de la première série de pales.

Pour plus de précisions on se reportera à ce document. Toutes les variantes de ce document étant envisageables. Ainsi un couvercle peut recouvrir la première série de pales.

20 Les chignons 39 sont donc bien refroidis ainsi que l'agencement de redressement 1, le régulateur de tension 116 qui comporte l'alternateur 10 et les roulements à billes 105, 106.

Le palier arrière 16 porte un agencement de 25 redressement 1 du courant alternatif produit par le bobinage 23 du stator 12, ici triphasé, et un porte-balais coopérant avec les bagues collectrices 17. Grâce à l'agencement 1 le courant alternatif produit par le bobinage 23 est transformé en courant continu pour 30 recharger la batterie du véhicule et alimenter les consommateurs, tels que le dispositif d'éclairage, le dispositif de climatisation etc.

De manière connue les bagues collectrices 17 sont reliées aux extrémités du bobinage d'excitation 62 du 35 rotor 13 par des liaisons filaires passant derrière le

WO 02/093717

PCT/FR02/01631

13

ventilateur 104, comme visible dans cette figure 3. Lorsque le bobinage 62 est activé il est formé de manière connue des pôles magnétiques au niveau des griffes 68, 70.

5 Il est en outre prévu un capot de protection 27 ajouré de manière décrite ci-après pour circulation de l'air

Ce capot 27, ici en matière plastique, coiffe le porte-balais, connecté de manière connue au régulateur 10 de tension 116, et l'agencement de redressement doté de diodes.

10 Les balais du porte-balais coopèrent par frottement contre les bagues 17. Le dispositif de régulation permet de limiter la tension fournie par le stator pour 15 notamment protéger la batterie

Les paliers 16, 18 comportent des pattes pour leur fixation sur une partie fixe du véhicule et sont reliés entre eux à fixation ici à l'aide de vis dont l'une est visible à la figure 3. L'alternateur du véhicule est donc relié électriquement à la masse via ses paliers 16, 18.

En variante les plateaux des paliers sont inclinés axialement.

20 En variante le ventilateur 102 est supprimé sachant que le ventilateur arrière est plus puissant.

D'une manière générale l'alternateur comporte au moins un ventilateur interne solidaire 13 du rotor et implanté à l'intérieur du carter en dessous d'un chignon 39 en sorte que le bobinage 23 est bien refroidi et que 25 l'alternateur est de forte puissance tout en étant compact notamment axialement et peut bruyant.

En variante un unique ventilateur est implanté à l'extérieur au niveau de la poulie.

30 L'invention concerne notamment la réalisation de la plaque 9 formant support des diodes positives 8 et 35

WO 02/093717

PCT/FR02/01631

14

constituant un dissipateur de chaleur. Suivant une caractéristique cette plaque 9 est agencée pour assurer une meilleure dissipation de chaleur et sera appelée dissipateur de chaleur. Comme on le voit sur les figures 5 à 6, l'agencement de redressement selon l'invention peut se contenter de trois diodes positives 8, en raison de l'optimisation du refroidissement procuré par l'invention. Différemment de la figure 1, deux de ces diodes 8 sont disposées près de la périphérie externe de 10 la plaque, sensiblement sur le même cercle que les trous 111 des queues 111 des diodes négatives et les vis 115 de fixation de l'agencement de redressement sur le palier arrière. La troisième diode est disposée au 15 voisinage de la borne 117, dite borne positive. Plus précisément la plaque présente un prolongement au voisinage de la borne 117 pour sa fixation sur le plateau 3.

Les trous dans lesquels sont emmanchés à force les diodes portant la référence 8' et les trous de passage 20 des vis 115 sont indiqués en 115'. Comme on le voit clairement sur les figures, la partie centrale du dissipateur 9 est ainsi dégagée.

La face supérieure du dissipateur 9 porte une multitude d'ailettes 118, 119 qui font saillie 25 perpendiculairement de la face de la plaque et s'étendent sensiblement radialement à partir du bord radialement interne de la plaque, les ailettes 118, dites premières ailettes, allant suivant une caractéristique de l'invention pratiquement jusqu'à la 30 périphérie externe de la plaque dissipatrice, les autres ailettes 119, dites secondes ailettes, jusqu'aux trous de réception des diodes, des vis de fixation et de passage des queues des diodes négatives.

Ici certaines des secondes ailettes 119, plus 35 courtes que les premières ailettes 118, s'étendent

WO 02/093717

PCT/FR02/01631

15

suivant l'invention à proximité des diodes positives 8 disposées à la périphérie externe de la plaque 9 pour un bon refroidissement de celle-ci. D'autre des secondes ailettes 19 s'étendent jusqu'à proximité des vis de fixation 115.

On constate que la diode positive médiane 8 est située entre deux ailettes longues 118, conformées à leur périphérie externe pour entourer le plus possible la diode médiane 8, et qu'une des ailettes longues 118 est à proximité des deux autres diodes 8. Les ailettes 18, associées à la diode positive médiane 8, sont recourbées à leur périphérie externe l'une en direction de l'autre pour mieux entourer cette diode médiane. Dans l'exemple représenté, douze ailettes 118, 119 sont prévues sur le dissipateur en forme de plaque 9. Des ailettes sont prévues sur les deux faces de la plaque. La figure 5 fait apparaître que certaines ailettes présentent une largeur plus importante pour augmenter la masse de la plaque 9.

Plus précisément, pour encore mieux évacuer la chaleur, la face inférieure, tournée vers le plateau 3, de la plaque 9 est dotée d'aillettes longues 119' et courtes 118' comme la face supérieure. Certaines des ailettes 119', 118' ont une largeur importante.

Comme le montre clairement les figures, la plaque est percée entre les ailettes dans l'aire disponible. Ces ouvertures 120 constituent avec les ailettes radiales 118, 119 convergentes vers l'intérieur, des canaux axiaux de refroidissement qui assurent un écoulement accéléré de l'air de refroidissement aspiré par le ventilateur interne et ensuite refoulé à travers les ouvertures latérales 5 du palier.

La figure 7 illustre la plaque intermédiaire isolante 13 qui comporte, de la manière correspondant à la plaque 9 de support des diodes positives, des trous

WO 02/093717

PCT/FR02/01631

16

de passage 122 des queues des diodes positives 8, des trous de passage 123 des vis de fixation 115 et des trous de passage 124 des queues de passage des diodes négatives 10, tous dans la zone annulaire extérieure 5 près de sa périphérie, la partie annulaire 125 située plus à l'intérieur étant pourvue de larges ouvertures 126 d'écoulement de l'air de refroidissement et dont la disposition correspond aux ouvertures 120 de la plaque 8. Dans le cadre de l'invention il pourrait être 10 envisagé de supprimer cette partie annulaire 125 de la plaque isolante, ce qui permet de réduire la taille de la plaque 13.

De manière connue les têtes des vis 115 prennent appui sur le fond d'un logement appartenant à la plaque 15 113 pour serrer la plaque 9 au contact de la plaque 113.

La figure 8 montre un capot de protection 27 en forme de coupelle destinée à coiffer l'agencement de redressement selon l'invention, qui se distingue par sa configuration optimisée, parfaitement adaptée au 20 dissipateur du fait que sa partie située au-dessus de celui-ci est fortement ajourée en ne laissant subsister que des nervures radiales étroites 128 et une nervure coaxiale également étroite 129. Les ouvertures 130 importantes ainsi obtenues, qui s'étendent radialement 25 comme les ailettes de refroidissement 119, 118 assurent un écoulement accéléré purement axial de l'air de refroidissement aspiré et ainsi un refroidissement optimal de l'agencement de redressement de l'alternateur selon l'invention. On notera que c'est uniquement la 30 partie formant le plateau central d'orientation transversale du capot 27 qui est doté des ouvertures, le rebord annulaire d'orientation axiale du capot, se raccordant à la périphérie externe du plateau central, étant dépourvu d'ouvertures. L'air passe donc axialement 35 à travers les ouvertures 130 et 120, sachant que les

WO 02/093717

PCT/FR02/01631

17

ouvertures 120 sont en vis-à-vis des ouvertures 7 du palier arrière.

On notera que l'épaisseur des nervures, ou bande de matière, radiale 128 est fonction de l'épaisseur des ailettes 118,119 en étant ici globalement égale à celles-ci. Les nervures 128 sont en regard des ailettes 118,119.

Ici la nervure ou bande de matière 129 est circulairement continue en sorte que les ouvertures 130 sont divisées en deux. Une première partie des ouvertures 130 est en regard des ouvertures 120 de la plaque 9 en ayant avantageusement chacune une longueur ou hauteur radiale supérieure à celle d'une ouverture 120. La nervure 129 s'étend au-dessus des ouvertures 120 en sorte que la deuxième partie des ouvertures 130 est en regard notamment des deux diodes positives 8 implantées à la périphérie externe de la plaque 9.

La plaque 9 est ainsi bien refroidie et le capot 27 plus résistant. De manière connue le capot 27 est fixé par encliquetage sur les vis 115 pourvues d'une partie filetée à cet effet comme décrit dans le document WO01/69762.

Le rebord annulaire d'orientation axiale du capot 27 est ici dépourvu d'ouvertures.

La figure 9 illustre une version 132 intégrée de l'ensemble formé par le palier arrière et le capot de protection de l'agencement de redressement, avec des ouvertures d'écoulement axial 132 dans la partie coiffant le dissipateur de l'agencement de redressement qui est fixé à l'intérieur de l'ensemble. Dans ce cas les diodes négatives sont montées sur une plaque ayant la configuration du plateau 3 de la figure 1. Cette plaque est fixée sur le palier arrière par tout moyen, sachant que ce palier arrière 16 est relié à la masse. Le capot 132 présente alors avantageusement des

WO 02/093717

PCT/FR02/01631

18

surépaisseurs en forme de nervures issues d'une portion tubulaire s'étendant en saillie axiale par rapport à la partie centrale du capot constituant le fond du palier arrière. Ces nervures sont reliées à leur extrémité libre à des cheminées de fixation. Ainsi l'alternateur peut entraîner par l'intermédiaire de son arbre de rotor une pompe à vide. Par simplicité les nervures, la portion tubulaire et les cheminées de fixation n'ont pas été référencées.

Dans tous les cas l'agencement de redressement comporte un dissipateur 9 en forme de plaque trouée à ailettes radiales, une plaque 13 à connecteurs et un troisième constituant le support des diodes négatives formé par le palier arrière ou une plaque solidaire du palier arrière. Il est donc fait appel à trois pièces principales contrairement au mode de réalisation décrit dans le document DE-A-19705228 précité dans lequel le connecteur est monté au-dessus de la plaque portant les diodes positives et gêne la ventilation. Dans la présente invention le connecteur 13 intercalé entre la dissipation 9 et le plateau 3 du palier arrière ou une plaque solidaire de celui-ci. Des canaux radiaux sont formés entre les ailettes. Les queues des diodes positives sont dirigées vers le support des diodes négatives. Deux ou moins des diodes positives s'étendent au-dessus des ouvertures 120.

Il ressort de la description de l'invention qui vient d'être faite, que grâce aux ailettes radiales et des ouvertures établies entre elles, du dissipateur support des diodes positives, on obtient un écoulement accéléré et ainsi optimisé de l'air de refroidissement, auquel contribuent les ouvertures prévues en vis-à-vis dans le palier et dans la plaque isolante formant connecteur. Etant donné que les diodes positives sont disposées près de la périphérie extérieure de la plaque

WO 02/093717

PCT/FR02/01631

19

de support, le connecteur peut avoir une taille réduite. Il est à noter que toutes les ouvertures sont configurées de sorte qu'ils réduisent des pertes de charge en facilitant l'écoulement de l'air. Il est 5 encore à souligner que les ouvertures dans le capot sont alignées avec les ailettes du dissipateur support des diodes positives.

Le fait que les ailettes 118, 119 convergent vers l'intérieur permet d'accélérer l'écoulement du fluide de 10 refroidissement ici de l'air en variante un autre fluide. Le dispositif de deux des diodes positives à la périphérie externe du dissipateur 9 permet d'augmenter 15 l'épaisseur du dissipateur 9 à cet endroit, en créant sur celui-ci par exemple une surépaisseur de section globalement trapézoïdale. Ainsi on évacue mieux la chaleur et la plaque 9 est rigidifiée. Avantageusement 20 la dissipation 9 est obtenue par moulage en étant à base d'aluminium.

On notera que les références 46,50,34 de la figure 20 3 désignent respectivement un joint annulaire plat, de la résine thermoconductrice et des tampons comme décrit dans le document WO02/29958.

Le joint 46 est interposé axialement entre le corps 19 et un épaulement non référencé du rebord du palier 25 avant 18.

La résine est interposée radialement entre la périphérie interne du rebord du palier 18 et la périphérie externe du corps 19.

Des tampons 34 sont interposés axialement entre le 30 corps 19 et un épaulement du rebord (non référencé) du palier arrière. Les tampons 34 sont en matière élastique comme le joint 46. Ils sont par exemple à base d'élastomère.

Les tampons 34 présentent des pattes 38 pour leur 35 montage dans des logements complémentaires du palier

WO 02/093717

PCT/FR02/01631

20

arrière 16 comme visible dans le document WO02/29958. Un découplage mécanique entre le stator et les paliers 16,18 est ainsi obtenu, la résine 50 se déformant élastiquement dans le sens radial.

5 L'alternateur est ainsi moins bruyant. La résine 50 permet de bien évacuer la chaleur en sorte que le rotor, notamment le bobinage 62 de celui-ci, peut être plus puissant.

Tout ceci est rendu possible grâce à l'agencement 10 de redressement 1 selon l'invention qui peut évacuer plus de chaleur.

Avantageusement on met en forme les bobinages électriques 23 et/ou 62 au moyen d'un outil de conformage qui exerce un effort sur au moins une zone 15 d'un bobinage de façon à le déformer. Ici la taille du bobinage 62 est accrue, la périphérie externe de celui-ci ayant une forme convexe, en variante en tonneau en sorte que son volume est augmenté ainsi que la puissance de l'alternateur autorisée grâce à l'agencement 1 selon 20 l'invention.

Pour plus de précisions on se reportera au document WO02/2958, les bobinages 23,62 étant montés respectivement dans les encoches du corps 19 et sur le noyau 67 par l'intermédiaire d'une feuille isolante 25 recouverte d'un matériau de liaison, tel qu'un polymère avantageusement du type thermodurcissable. Par chauffage on assure une liaison du bobinage 23,62 avec respectivement le corps 23 et le noyau 67.

On peut utiliser des épingle pour constituer le 30 bobinage 62. Tout cela est possible grâce à l'agencement 1.

Grâce à l'invention, l'alternateur est plus 35 puissant et peu bruyant. Bien entendu la présence de la résine 50, des tampons 34 et du joint 46 n'est pas obligatoire. De même ? comme décrit dans le document FR

WO 02/093717

PCT/FR02/01631

21

01 07178 déposé le 31/05/2001, le bobinage 62 est en variante réalisé par enroulement de l'élément conducteur sur un élément tubulaire monté sur le noyau 67 alors en deux parties ; chaque partie étant issue d'un des 5 plateaux 66, 64.

WO 02/093717

PCT/FR02/01631

REVENDEICATIONS

1. Machine électrique tournante du type comprenant un stator (12) avec des enroulements, un rotor (13) doté d'un arbre rotatif (15), un palier avant et un palier arrière, sur lesquels sont fixés les enroulements de 5 stator et dans lesquels est monté rotatif l'arbre de rotor, un agencement de redressement du courant produit par la machine électrique tournante, qui comprend une pluralité de diodes positives supportées par un dissipateur de chaleur en forme générale de plaque de 10 support et une pluralité de diodes négatives supportées par des moyens de support en forme de plaque formant avantageusement partie du palier arrière, ces plaques étant axialement juxtaposées en étant fixées sur le palier arrière, et un dispositif de refroidissement par 15 circulation d'un courant axial d'un fluide de refroidissement à travers des ouvertures axiales dans lesdites plaques, au moins certaines ouvertures dans la plaque (9) de support des diodes positives (8) étant pourvues d'un grand nombre de nervures de 20 refroidissement qui présentent la forme d'ailettes (118,119) s'étendant sensiblement radialement sur la plaque de support à partir du bord radialement interne de celle-ci, une ouverture (120) de passage du fluide de refroidissement étant prévue avantageusement entre 25 chaque paire d'ailettes adjacentes (118,119), caractérisée en ce que certaines ailettes (118), dites premières ailettes, s'étendent sensiblement jusqu'à la périphérie extérieure de la plaque (9) de support des diodes positives (8).
2. Machine selon la revendication 1, caractérisée en ce qu'au moins deux diodes positives (8) sont 30 disposées près de la périphérie extérieure de la plaque

WO 02/093717

PCT/FR02/01631

23

(9) de support des diodes positives (8) et en ce que d'autres ailettes (119), dites secondes ailettes, s'étendent jusqu'à proximité de ces diodes.

3. Machine selon la revendication 2, caractérisée en ce que les ouvertures (120) dans la plaque (9) de support des diodes positives (8) constituent avec les ailettes (118,119) adjacentes des canaux d'écoulement accéléré du liquide de refroidissement.

4. Machine selon la revendication 1, caractérisée en ce qu'au moins une première ailette (118) qui s'étend radialement jusqu'à la périphérie externe de la plaque de support (9) est à proximité d'une diode positive (8).

5. Machine selon la revendication 4, caractérisé en ce que la plaque de support (9) présente au niveau de la diode positive une surépaisseur.

6. Machine selon la revendication 1, caractérisée en ce qu'une plaque (13) en un matériau électriquement isolant est interposée entre les plaques (9,3) de support des diodes positives (8) et est configurée pour assurer un libre passage du fluide de refroidissement dans sa portion située en dessous de la partie de la plaque (9) de support des diodes positives (8), qui comporte les ouvertures (120) de passage de l'air de refroidissement.

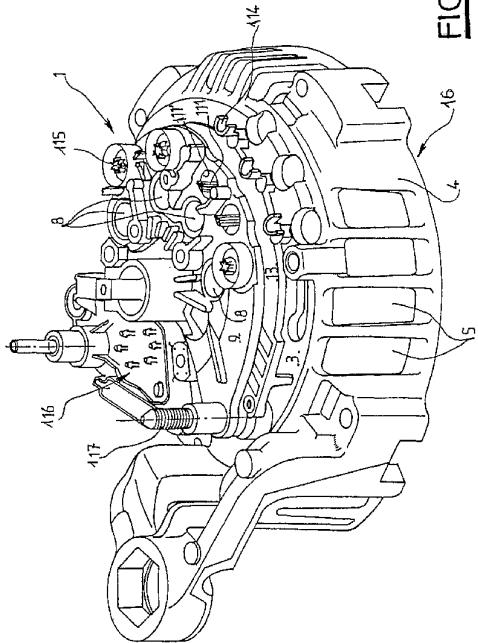
25 7. Machine selon la revendication 1, caractérisée en ce qu'il comporte une partie de capot qui comporte au niveau des ailettes (118,119) de la plaque (9) de support des diodes positives (8) des ouvertures radiales correspondantes.

30

WO 02/093717

PCT/FR02/01631

1/6

FIG.1

WO 02/093717

PCT/FR02/01631

2/6

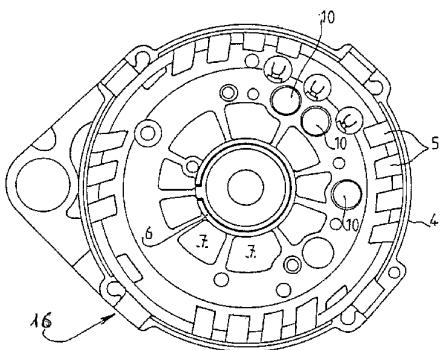


FIG.2

WO 02/093717

PCT/FR02/01631

3/6

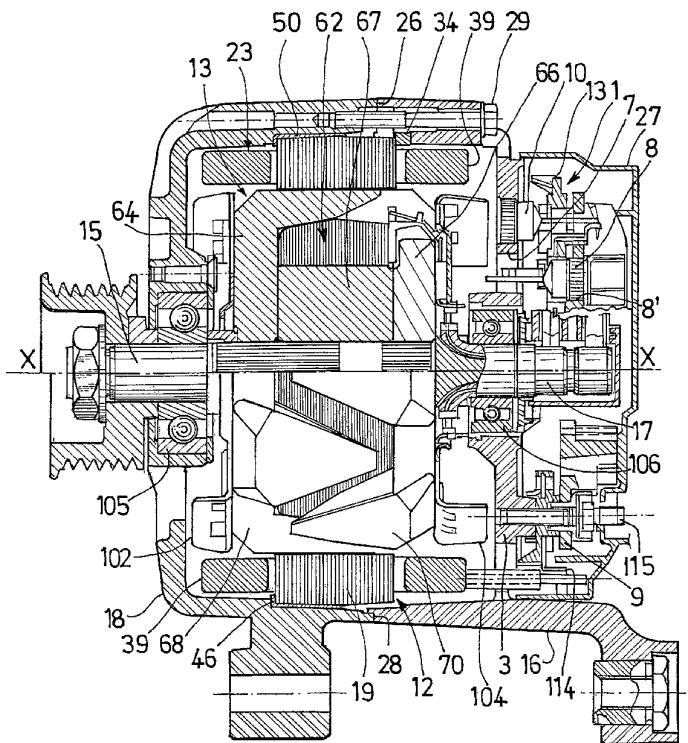


FIG.3

WO 02/093717

PCT/FR02/01631

4/6

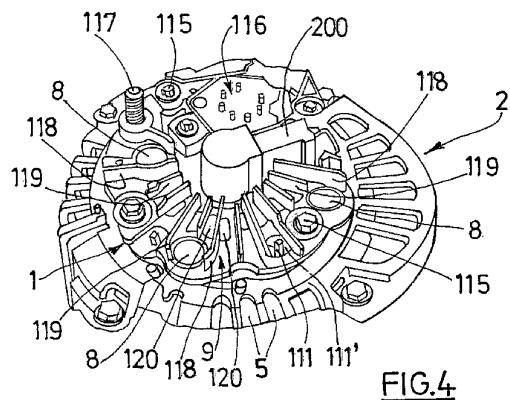


FIG.4

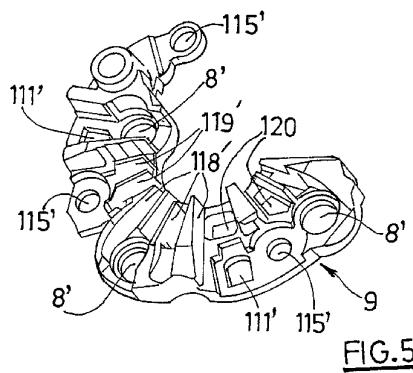


FIG.5

WO 02/093717

PCT/FR02/01631

5/6

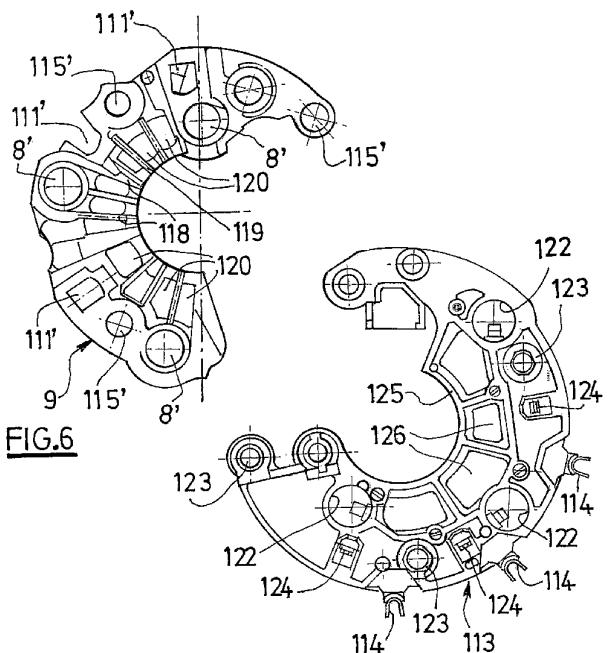


FIG.6

FIG. 7

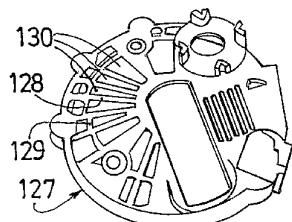


FIG.8

WO 02/093717

PCT/FR02/01631

6/6

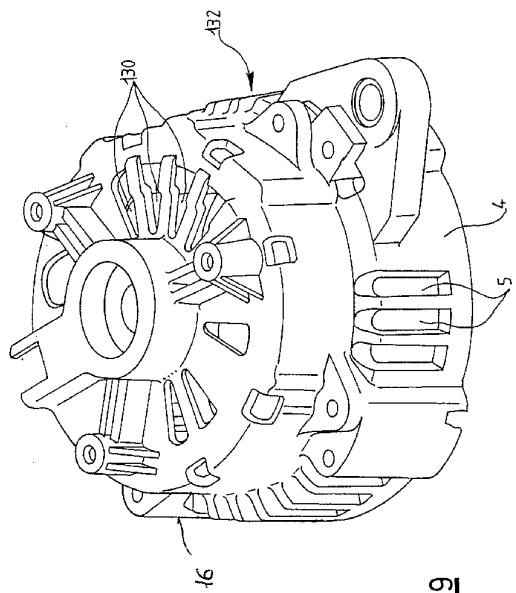


FIG.9

【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT		International Application No. PCT/FR 02/01631
A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER IPC 7 H02K11/04 H02K9/02 H02K5/20		
According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) IPC 7 H02K		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched		
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practical, search terms used) EPO-Internal, WPI Data, PAJ		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category *	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	US 5 646 838 A (KEIDAR ZVI ET AL) 8 July 1997 (1997-07-08) column 4, line 55 -column 5, line 24 figure 3 ----- EP 0 969 583 A (MAGNETI MARELLI MANUFACTURING) 5 January 2000 (2000-01-05) abstract; figure 3 ----- DE 197 05 228 A (BOSCH GMBH ROBERT) 13 August 1998 (1998-08-13) cited in the application abstract; figure 2 ----- EP 0 823 554 A (HUNTER FAN CO) 11 February 1998 (1998-02-11) abstract; figures 4,5 -----	1-7
A		1-7
A		1-7
A		1-7
<input type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of box C.		<input checked="" type="checkbox"/> Patent family members are listed in annex.
* Special categories of cited documents :		
A document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance		
E earlier document but published on or after the international filing date		
L document which may throw doubt on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)		
O document relating to oral disclosure, use, exhibition or other means		
P document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed		
Date of the actual completion of the international search 11 September 2002		Date of mailing of the international search report 19/09/2002
Name and mailing address of the ISA European Patent Office, P.B. 5818 Patentkantoor 2 NL - 2280 HV Rijswijk Tel. (+31-70) 340-2040, Tx. 31 651 epo nl Fax. (+31-70) 340-3018		Authorized officer Ramos, H

Form PCT/ISA/210 (second sheet) (July 1992)

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International Application No
PCT/FR 02/01631

Patent document cited in search report		Publication date	Patent family member(s)	Publication date
US 5646838	A	08-07-1997	NONE	
EP 0969583	A	05-01-2000	IT 0980517 A1 EP 0969583 A1	13-12-1999 05-01-2000
DE 19705228	A	13-08-1998	DE 19705228 A1 AU 723927 B2 AU 5852398 A BR 9807219 A WO 9836486 A1 DE 59804193 D1 EP 0960464 A1 JP 2001511999 T US 6285100 B1	13-08-1998 07-09-2000 08-09-1998 23-05-2000 20-08-1998 27-06-2002 01-12-1999 14-08-2001 04-09-2001
EP 0823554	A	11-02-1998	US 5883449 A CA 2210236 A1 CN 1174443 A EP 0823554 A1	16-03-1999 07-02-1998 25-02-1998 11-02-1998

Form PCT/ISA/210 (patent family annex) (July 1992)

RAPPORT DE RECHERCHE INTERNATIONALE		D - No Internationale No PCT/FR 02/01631
A. CLASSEMENT DE L'OBJET DE LA DEMANDE C1B 7 H02K11/04 H02K9/02 H02K5/20		
Selon la classification internationale des brevets (CIB) ou à la fois selon la classification nationale et la CIB		
B. DOMAINES SUR LESQUELS LA RECHERCHE A PORTE Documentation minimale consultée (système de classification suivi des symboles de classement) C1B 7 H02K		
Documentation consultée autre que la documentation minimale dans la mesure où ces documents relèvent des domaines sur lesquels a porté la recherche		
Base de données électronique consultée au cours de la recherche internationale (nom de la base de données, et si réalisable, termes de recherche utilisés) EPO-Internal, WPI Data, PAJ		
C. DOCUMENTS CONSIDÉRÉS COMME PERTINENTS		
Catégorie	Identification des documents cités, avec, le cas échéant, l'indication des passages pertinents	no. des revendications vues
A	US 5 646 838 A (KEIDAR ZVI ET AL) 8 juillet 1997 (1997-07-08) colonne 4, ligne 55 -colonne 5, ligne 24 figure 3	1-7
A	EP 0 969 583 A (MAGNETI MARELLI MANUFACTURING) 5 janvier 2000 (2000-01-05) abrégé; figure 3	1-7
A	DE 197 05 228 A (BOSCH GMBH ROBERT) 13 août 1998 (1998-08-13) cité dans la demande abrégé; figure 2	1-7
A	EP 0 823 554 A (HUNTER FAN CO) 11 février 1998 (1998-02-11) abrégé; figures 4,5	1-7
<input type="checkbox"/> Voir la liste du cadre C pour la fin de la liste des documents <input checked="" type="checkbox"/> Les documents de familles de brevets sont indiqués en annexe		
* Catégories spéciales de documents cités: *A* document délivré au titre général de la technique, non considéré comme particulièrement pertinent *E* document antérieur, mais publié à la date de dépôt international ou après celle-ci *L* document qui peut aider à déterminer la date de publication d'une autre citation ou pour déterminer le titre ou la nature spéciale (elle qu'indiquée) *O* document en rapport à une引用 citation ou, à un usage à une autre fin, à une autre publication *P* document publié avant la date de dépôt international, mais postérieurement à la date de la priorité revendiquée *T* document ultérieur publié après la date de dépôt international ou la date de priorité et n'appartenant pas à l'état de la technique pertinent, mais cité pour comprendre le principe ou la technique de la demande de brevet *X* document particulièrement pertinent; l'invention revendiquée ne peut être considérée comme nouvelle ou comme impliquant une activité inventrice par rapport au document considéré seulement lorsque le document est associé à un ou plusieurs autres documents dans une combinaison telle que celle-ci, cette combinaison étant évidente pour une personne du métier *Y* document particulièrement pertinent; l'invention revendiquée ne peut être considérée comme impliquant une activité inventrice lorsque le document est associé à un ou plusieurs autres documents dans une combinaison telle que celle-ci, cette combinaison étant évidente pour une personne du métier *Z* document qui fait partie de la même famille de brevets		
Date à laquelle la recherche internationale a été effectivement achevée 11 septembre 2002	Date d'émission du présent rapport de recherche internationale 19/09/2002	
Nom et adresse postale de l'administration chargée de la recherche internationale Office Européen des Brevets, P.O. 5818 Patentan 2 NL - 2280 HV Rijswijk Tel: (+31-70) 340-2040, Tx: 31 651 epo nl, Fax: (+31-70) 340-3016	Fonctionnaire autorisé Ramos, H	

Formulaire PCT/ISA/210 (deuxième feuille) (julio 1992)

RAPPORT DE RECHERCHE INTERNATIONALE

Renseignements relatifs aux membres de familles de brevets

Document brevet cité au rapport de recherche	Date de publication	Membre(s) de la famille de brevet(s)	Date de publication
-------------------------------------------------	---------------------	--------------------------------------	---------------------

DI No Internationale No
PCT/FR 02/01631

US 5646838	A	08-07-1997	AUCUN
EP 0969583	A	05-01-2000	IT T0980517 A1 EP 0969583 A1
DE 19705228	A	13-08-1998	DE 19705228 A1 AU 723927 B2 AU 5852398 A BR 9807219 A WO 9836486 A1 DE 59804193 D1 EP 0960464 A1 JP 2001511999 T US 6285100 B1
EP 0823554	A	11-02-1998	US 5883449 A CA 2210236 A1 CN 1174443 A EP 0823554 A1

Formulaire PCT/ISA/210 (en vertu des familles de brevets) (juillet 1992)

フロントページの続き

(72)発明者 ダニエル イルス-

フランス国 エフ - 6 2 6 0 0 ベルク シュル メル リュ アルフレド ランベール 7

(72)発明者 エリク ル ケル

フランス国 エフ - 6 2 2 2 4 エキアン プラジュ リュ ジ デュクロ 1 4

F ターム(参考) 5H609 BB05 BB12 BB18 PP02 PP04 PP05 PP06 PP09 PP16 QQ02

QQ12 QQ19 RR02 RR27

5H619 AA11 BB02 BB06 BB17 PP01 PP02 PP10 PP11 PP25 PP28

PP32